

平成 21 年 1 2 月 1 6 日

教育GP 「新世代到達目標型教育プログラムの構築」
の採択について

文部科学省の平成 21 年度「大学教育・学生支援事業【テーマA】大学教育推進プログラムの構築」に採択され、次の取組に着手しました。事業期間は、平成 21 年度から平成 23 年度の 3 年間です。

【取り組み概要】

大学は、常に教育の質の保証への対応が求められています。現行の到達目標型教育プログラム（HiPROSPECTS®）は、導入後 4 年目を迎え、来春には第一期生を社会へ送り出します。今後も卒業生すべての質の保証の信頼性を高めるため、次の 3 点を中心とした取り組みを行い、さらに発展させていきます。

（1）問題発見・解決能力の醸成

初年次教育における PBL 総合教育を通じて専門領域を超えた合同教養ゼミで、「医療」、「平和」、「地域・環境問題」など分野を超えた共通するテーマについて討論することで問題発見・解決能力を育成し、高学年で「融合・展開」、「学際教育」へと発展させます（*PBL とは、Problem Based Learning の略で問題解決型授業を意味します。）。

（2）「広島大学学士力」

教養教育科目を専門教育科目に体系的に融合させることで、広大生として共通に身につけて欲しい力（広大リテラシー）と専門性を兼ね備えた、より明確な到達目標を持つ学位プログラムの形成を図ります。

（3）システムティックレビュー教育改善法の構築

HiPROSPECTS®では、学生がどの程度「到達目標」へ到達しているのかを評価する「到達度評価」を実施していますが、継続的なプログラム改善を行うため、学生による到達度の自己評価アンケートを実施します。これにより教員と学生が協働で評価を行い、プログラムの適正化を図り、学習指導改善、カリキュラム改善を進めていきます。

【お問い合わせ先】

教育室
教育企画グループ 和田芳弘
TEL:082-424-4835、FAX:082-424-6170